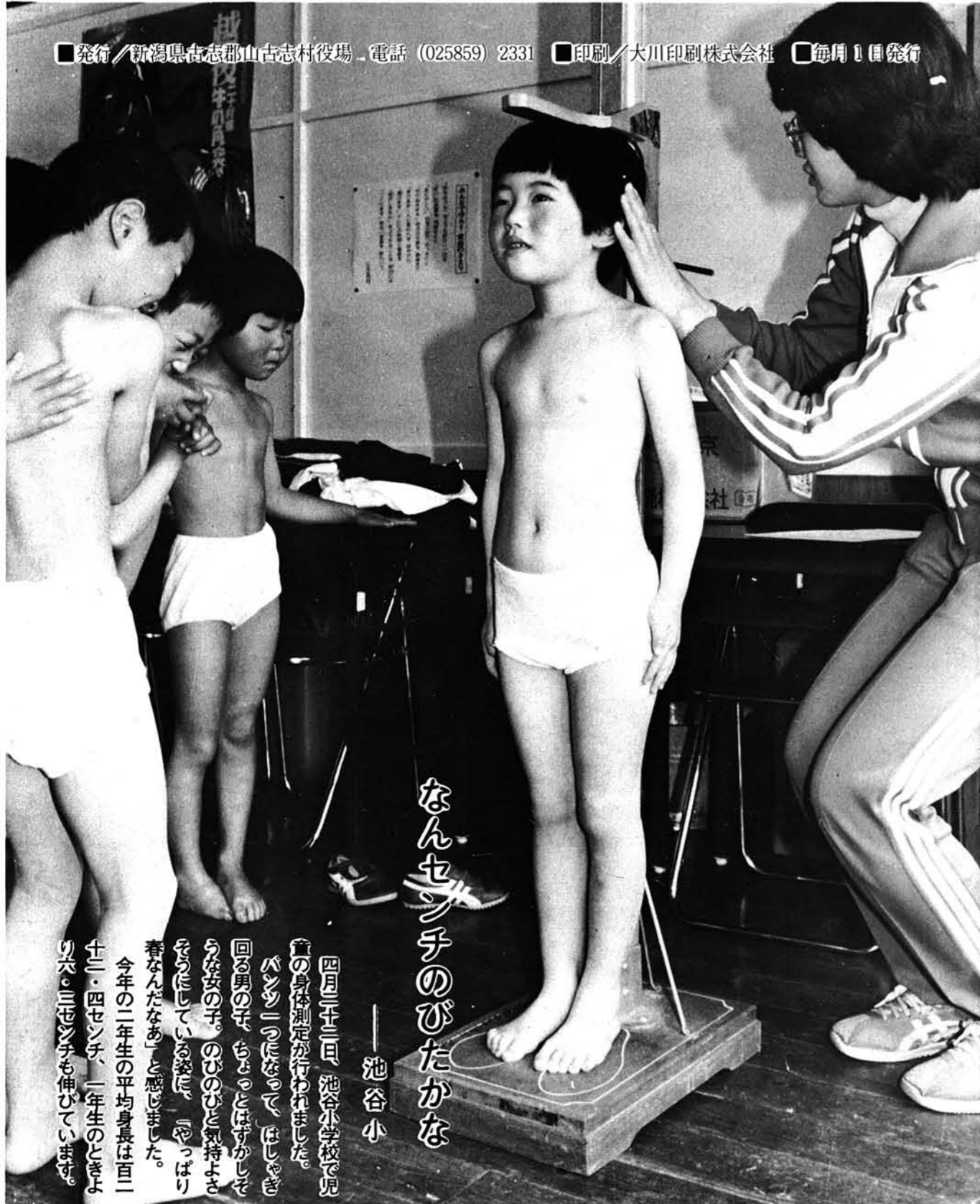


発行/新潟県吉志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 印刷/大川印刷株式会社 毎月1日発行



なんセンチのびたかな
——池谷小

四月二十二日、池谷小学校で児童の身体測定が行われました。ハンカチを握って、はしゃぎ回る男の子、ちよっとはすかしそる女の子、のびのびと気持ちよそをたして「なんセンチ、やっばり春なんだなあ」と感じました。
今年の二年生の平均身長は百二十二・四センチ、一年生のときより六・三センチも伸びています。



国民年金

昭和56年度 保険料の免除申請受付

国民年金は私たちの老後の幸せを願って生まれたもので、個人が納める保険料と国のお金でまかなわれています。
しかし、所得がなかったりして保険料を納めることができない方には、保険料を免除する制度があります。この免除を受ければ、昭和五十六年度の一か年分の保険料を納めなくても、年金の期間にア
ナはあきません。
ことしも次の日程により、保険料の免除申請を受け付けますので、希望者は忘れずにおいでください。
なお、当日都合で申請できない方は、二日以内に役場住民課で申請してください。

申請期日 五月二十日(水)
申請場所 役場住民課年金窓口
持参品 印鑑
※ 免除申請されても、所得額

5月8日(金) 春の消防演習

午前9時のサイレン・半鐘を合図に機械器具の点検と放水訓練を行います。火には注意し、火災を起こさないよう心がけましょう。

栄養指導車

保健所の栄養指導車「ゆうきゅう号」が来村し、健康づくりのための食生活改善指導を行います。となり近所おさそいあわせて多数おいでください。

期日	場所	時間
5月7日(木)	竹沢農協前	10:00~11:30
5月8日(金)	種芋原下村公民館前	10:00~11:30
	種芋原農協前	13:30~15:00
5月12日(火)	木籠松井治二宅前	10:00~11:30
	梶金仲間商店前	13:00~14:30

犬、ねこの引き取り

5月28日(木)	役場	10:30~11:00
----------	----	-------------

▶手数料—1匹につき1,000円。子犬、子ねこは10匹につき1,000円。
▶引取方法—親犬、親ねこは麻袋等に入れる。子犬、子ねこは段ボール箱に入れて封をする。なお、印鑑を持参ください。

お知らせ

農業共済 田んぼの異動があつたら必ず申告を

農業共済は、農家の万一の備えとして安全経営を図っていただくための制度です。
いま、本年度の「水稲共済細目書異動申告票」を配布し、みなさんから田の作付面積等の確認をお願いしています。申告票から耕地の異動や氏名の変更等がありましたら、申告票に記入して、期日までに区長さんに提出してください。もし申告がないと、掛金や共済金支払に影響しますので必ず行ってください。

住宅金融公庫

住宅資金の申込受付
受付期間…五月二十八日まで
選定方法…先着順で無抽選
対象住宅…自分が住むための住宅の新築で、住宅部分の床面積が二〇㎡以下。ただし、六十歳以上の老人、心身障害者、六人以上の家族が同居する場合および二世帯住宅の場合は一五〇㎡以下。
融資額…木造(八〇㎡以上)の場合四一〇万~四三〇万円。断熱構造化二〇万~四〇万円、太陽熱温水器設置一〇万円、老人(六十五歳以上)等が同居する場合五〇万~一五〇万円の割増し制度があります。
利率…年五・五%
返済期間…木造は二十五年以内
申込場所…県内の「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関
※ 詳しくは公庫北関東支所(〇二七二一三二一六五五)または公庫業務取扱金融機関へ。

級別	標準小作料 (10アール当たり)	収量 (10アール)
1級地	21,000円	420kg
2級地	14,000円	396kg
3級地	9,000円	379kg

56～58年の 標準小作料が 決まりました



農地の小作料は当事者が話し合
って決めることになっていま
すが、この「めやす」となるのが標
準小作料です。
標準小作料は三年に一回、小作
料協議会で決められ、今回の改訂
は昭和五十六年から五十八年まで
適用されます。

(農地の級地区分)

▼種芋原
一級地—西山、西向、中野、寺野、
風口、十二平、藤倉、まぎ田
二級地—大野、蛇沢、倉骨、裏の
山
三級地—屋内金、焼ツルネ、名山、
城の外、城山、中の城、小畑沢、
小松山、アシ沢

▼虫亀
一級地—虫亀全域

▼竹沢
一級地—上の山と外山を除く全域
二級地—上の山、外山

▼南平
二級地—南平全域

▼東竹沢
一級地—東山、柳田、芹坪、出口、
清水
二級地—南原、川向、赤木、中子
三級地—貉ツルネ、ブナ坂、冷子
沢

※ 昭和四十五年以前より継続さ
れている小作地についても、統
制小作料が廃止されましたの
で、標準小作料をめやすに、当

地区名	氏名	屋号	電話
種芋原	坂牧 清作	坂牧屋	3010
虫亀	五十嵐俊一	九之七	2427
池谷	斉藤 一	かねしょ	2748
橋木	畔上 勝	周いむ	2658
下村	星野 立夫	三治郎	2114
二丁野	星野与次郎	弥五郎家持	2162
向田	高野 明雄	五郎兵工	2104
間内平	長島 清治	おけや	2311
菖蒲	星野 栄二	いんきよや	3573
山中	星野 国一	亀 蔵	2195
油夫	青木 源作	大 工	2130
桂谷	小池 彦衛	おっさ	2739
梶金	関 喜美雄	大 家	2568
大久保	五十嵐藤一	へえ兵工	2614
木籠	川上 秀雄	甚 助	2547
小松倉	小川 信雄	伊いむ	3634

役場の区長さん

(役場事務嘱託員)



※ 小作料の物納が、農業委員会
の承認を受けた場合に限り、で
きるようになりました。
※ 畑の標準小作料は決めてあり
ません。当事者で話し合っ
てください。

地すべり発見に ご協力を!

雪が融け、小さな地すべりが続
発しています。大きな地すべりが
大変心配です。次の徴候を見つ
たら、すぐに通報を!

- ①土地のき裂、陥没、隆起
- ②立木の根切れ音、家鳴り
- ③立木や家の傾動
- ④井戸水、湧き水の異常変化
- ⑤鳥獣などの異常行動

通報先—役場建設課
地すべり巡視員

診療所の診療時間

平常診療時間
午前九時～午後五時
土曜日は十二時まで
日曜・祝日は休診

▼種芋原診療所
担当—柳医師
月曜日と木曜日の午後を
除く毎日

▼虫亀診療所
担当—柳医師

▼竹沢診療所
担当—佐藤医師
月曜日と木曜日の午後一
時三十分～三時三十分

▼東竹沢出張診療所
担当—佐藤医師
水曜日午後を除く毎日

▼水曜日午後二時～四時

第一回臨時村議会

新しい議会人事決まる—

議長は坂牧正憲氏

改選後の村議会が四月三日に開かれ、議会人事等について審議
が行われました。その結果、議長に坂牧正憲氏、副議長に五十嵐要
吉氏が選ばれました。また、常任委員会の構成、監査委員等も次の
ように決められています。(以下敬称略)

議長 坂牧 正憲



副議長 五十嵐要吉



【常任委員会】

◇総務委員会

委員長—佐藤 武一
副委員長—金内 栄吉
高野 哲四、坂牧 正憲
星野 一夫

◇産業厚生委員会

委員長—星野 義雄
副委員長—樺沢 松雄
五十嵐要吉、高野新之丞
小川惣右衛門

◇建設委員会

委員長—小幡 勝
副委員長—小川 金雄
青木 秀敏、五十嵐秀夫

【監査委員】



監査委員 五十嵐秀夫

【錦鯉指導研修所運営委員】

◇一号委員(村議会議員)

高野新之丞 星野 一夫
小幡 勝

◇二号委員(関係機関団体役員)

五十嵐秀夫 関 幸作
高野 義隆 高野 哲四

◇三号委員(学識経験者)

関 昇一 佐藤 武一
星野 仙嗣

【選挙管理委員】

小川八一郎(小松倉)
星野仲次郎(二丁野)
坂牧 兼松(種芋原)
田中 忠志(虫亀)
選挙管理委員補充員
小池 三治(桂谷)
長島元二郎(虫亀)
五十嵐利雄(池谷)
湯本 徳一(種芋原)

村をきれいにしましょう



ごみや空きかんの
投げ捨ては
しないでください

待ちに待った春。木や草もいっ
せいに新緑の芽をふき出します。
ところが、雪で隠れていたゴ
ミや空きかんも顔を出している—
道路や川沿いでこんな光景が目
につきます。
投げ捨てられたゴミや空きかん
は、村の風景や環境を汚している
だけでなく、そこに住む私たちの
「公德心」までが問われます。
処理するには時間も労力もかか
りますが、「きれいな村」にする
ため、ご協力をお願いします。

あなたとともに 赤十字



緑の五月は赤十字運動月間。赤
十字は人道・博愛・平和をシンボ
ルに、みなさんの善意を集めてい
ます。あなたもご参加ください。



次のページに続く

村章の応募ありがとうございました

あなたはどれが
よいと思いますか？

応募294点を審査中です



種芋原保育所の児童

カット

「山古志村をあらわす親しみの持てるシンボルを」と、村章のデザインを募集したところ、二九四点にのぼる応募をいただきました。たいへんありがとうございました。

応募作品はご覧のとおり、非常にバラエティーに豊んでいます。円で村の和をあらわすもの、三角形で山をあらわすもの、六角形で雪をあらわすもの、牛の角や錦鯉をあらわすものなど。なかには「村の人口増加による繁栄をシンボル化する」、「山の下に小石があつて、やまこいし山古志と読む」というものもありました。

現在、専門家の意見を聞いて作品を審査中で、入賞作品が決まりしだいお知らせします。

〔応募点数〕

村内一般	二二点	応募者	一四一人
村内中学生	四二点		九七一人
村外	三三二点		五二一人
合計	二九四点		一六二一人





先生の異動

***よろしく願います**
 (一)は前任校等

種善原小 教頭坂内秀雄(小須戸中) 教諭平沢セツ(栃尾東小) 同大塚政雄(県立月ヶ岡養護あけぼの分校) **虫亀小** 校長平山正男(村上小) 教諭覚張興栄(長岡・希望が丘小) 同木菱ミヨシ(六日町・大巻小) **池谷小** 教頭石井哲夫(新津・第五中) 教諭藤巻章(中之島・上通小) **竹沢小** 教頭桑原寛二(小出・干溝小) 教諭横山泰也(長岡・宮内小) 同芦川裕之(新採用) 主事星明美(同)

東竹沢小 教頭坪上誠二(越路・東谷小) **種善原中** 教諭若井幸三(小千谷中) 同神林盛子(新採用) **山古志中** 教諭伊藤ハツイ(新採用) **教育委員会勤務** 派遣社会教育主事福原博夫(小千谷小) **長岡農高山古志分校** 教諭阿部寿昌(本校) 同和田文夫(栃尾高) 同阿部昭一(新採用) 講師長尾とし子(同)

***ごくろうさまでした**
 (一)は転任校等

種善原小 教頭外山寛二(三条・月岡小) 教諭須江健雄(新潟・山湯小) 同青木ノブ(退職) **虫亀小** 校長関矢一雄(中越教育事務所) 教諭高野平次(長岡・川崎小) 同深沢美千子(新潟・鏡淵小) **池谷小** 教頭星野永治(鹿瀬中)

教諭田上実英(長岡・神田小) **竹沢小** 教頭中條辰男(塩沢・樺野沢小) 教諭相田邦夫(三条・旭小) 同石井博(長岡・六日市小) 主事神田春子(見附・名木野小)

東竹沢小 教頭阿部金一(小千谷南中) **種善原中** 教諭広瀬鉄男(豊栄・岡方中) 講師星野美和子(退職) **山古志中** 教諭高橋健吉(小千谷・片貝中) 講師霜鳥京子(退職) **長岡農高山古志分校** 教諭野内清忠(燕工業) 同加藤治(栃尾高) 同中山紀子(十日町実業) 同若井富平(退職)

県派遣社会教育主事、福原博夫さん(35歳)が、四月一日教育委員会に着任しました。これから三年間、主として社会教育学級・講座、スポーツの振興に活躍していただくことになっています。

福原さんは津南町の出身、現在は小千谷市に住んでおり、スキー、水泳、野球、登山、バドミントン



福原さん

社会教育主事に福原さん

「気軽につきあってください」
 とスポーツ万能。
 山古志村については、以前金倉山にスキーをかけた二度登ったことがあり、とにかく自然がきれいで、人々が親切だという印象を受けたとのこと。

「村民が生きがいを持って明るい生活をする手助けになれば。早く地域にとけこんで皆さんといっしょにやっていきたいので、気軽につきあってください。」
 と、さっそく皆さんをおじゃましています。

役場人事異動

四月一日付け、(一)は旧所属

■総務課 車両長高橋寛作(建設運転員畔上多作) (同) ■種善原診療所 主事佐藤佳子(竹診) ■竹沢保育所 保母関静子(種保) 同石原明美(虫保) ■虫亀保育所 保母長島るみ子(竹保) ■種善原保育所 保母坂牧世伊子(竹保)

▽採用 ■住民課 運転員関洋一 ■竹沢保育所 調理員刈羽初江 ■虫亀保育所 調理員青木久江 ■種善原小 調理員坂牧ハナ、同坂牧シゲ ■山古志中 調理員佐藤ティ子

▽退職 坂牧由美子(種善原保育所保母、三月三十一日付け)

印紙税が2倍に引き上げられます

5月1日から



印紙税が改正され、五月一日から税額が二倍に引き上げられます。たとえば、三万円以上一〇〇万円以下の品物の領収書には、従来一〇〇円の印紙が必要でしたが、改正により二〇〇円の印紙が必要となります。

商品券、ギフト券などでは、金額が記載されていないものであっても、その品物の価格が明らか

ときは印紙税がかかるようになります。また不動産売買契約書、請負契約書などで契約金額が記載されていないものでも、見積書や注文書を引用しているときはその金額に応じ印紙税がかかるようになります。

八犬伝と 修 野 軍 一 伝 (136)

益を得るよしなかりしかば、猶東西となく巡る程に、一日疲勞て、松の下蔭に、坐しておもわず眠りし夢に、人ありて告るやう、今大江戸に、著作堂(馬琴) ちふ僻児あり、博識奇才なれども、人の師になることを好まず、年々に兎戯の策子(早紙)を綴りて、もて旦暮(あけくれ)に給すのみ。彼人今茲は書肆の需に應じて、里見八犬伝と書名せる、大部の小説を作りまくとす。里見氏の事実において、必ず考たる所あらん。蓋ぞ行て問ざるや、但し彼人未見無用の客をいとへり。其友をえらむの故に、大都会に在ながら、同好知己の友なし。この故に彼人みづから蓑笠と号す。蓑笠はずなはち隠遁の義なり。(中 略)

世人なべてこれを思はず、其高名なる所云に、いかにひとたび対面して、われ曲亭と相識なりとて、俗に誇らまく欲すとて、随意、漫に刺を投じ、しばしば執接児を煩せて、果さざるも多からん。和僧まずこのころを得て、非如那里へ造るとも、紹介なしと饒されずは簡様々々にいひ哄へよ、と告るを思へば夢

覚けり。正にこれ靈夢に似たれば、心ひそかに欽びて、木更津船のり走らせつつ、斯は訪まつりに、果してたやすく容れられず、紹介ありと併りしは彼夢がみの教に依れり。(後略)

○ ○ ○
 と記し既に稿を創めたまいばと書きついである。頭陀の名は判らないが、里見城の探究者であったものらしい。この頭陀はその後も訪れている。その時は星霜三十年を過ぎていた。馬琴は次のように書いている。

○ ○ ○
 そもそも本伝初板の年より、光陰流るる水に似て、老の至るを知らざりける作者古稀なかなばなりける。今茲天保十二年辛丑の秋八月まで、星霜二十八年にて本伝稿本思ひの隨に、全局を結ぶ折から、彼頭陀何等の風に吹れけん、いと珍らかにも訪れにけり。

○ ○ ○
 としている。馬琴は既に盲目になつていた。頭陀は西海、南海なる九州四国を行脚し幾春秋をかきかねて、又安房に戻り八犬伝の名を耳にし来たもの。